

## 記者手帳

○…茨城国体総合開会式のオープニングプログラムで、木やり歌とはしご乗り、まとい振りの演技を披露した眞鳶・土木工業会。鈴木洋治会長は「おめでたい舞台に花を添えることができた」と感慨深げ。はしご乗りは、とび職の若者が約7層の高所で離れ業を練り出した。

## とび職の頑張りが発信

日頃は消防出初め式やイベントで火消しの伝統芸を披露しているが、今回は令和初の国体という大舞台。「茨城のとびが頑張っているところを全国に発信できた」と喜んだ。

(野)

○…「働き方改革が進む中、女性の能力を存分に発揮できる社会では、まだない。今は過渡期」。水戸市で開かれた男女共同参画チャレンジ支援セミナーで、守谷市の団体「子育てネット

ワークまもり」の宮下嘉代子代表理事は、こう話した。

宮下さんはテレワークを使い仕事と子育てを両立。セミナーでは「職住近接」で働きやすい環境整備の重要性を訴えた。「地域には金の卵のママたちがいる。企業とマッチングして雇用創出につなげたい」と意気込む。(木)

○…「獣医として、動物愛護推進員として各地区で長年、動物愛護を成し遂げてきた」。動物愛護月間(9月)に合わせた本年度の功労者表彰で、獣医師会の宇佐美晃会長は受賞者18人の功績をたたえた。

犬猫の遺棄や虐待を防ぐため、近年は動物愛護法の改正や県条例の罰則強化など対策が進む。「レッドやイエローカードを出すだけでなく、動物の特性や病気予防の必要性を県民に伝えながら、長く終生飼うことも現場で指導してほしい」と呼び掛けた。(戸)